

まちづくり推進組織の会議記録

会議の名称	平成16年度第1回かごしままちづくり会議
開催日時	平成17年2月3日(木) 14:00~15:30
開催場所	かごしま市民福祉プラザ5階中会議室
出席者 (委員) (市職員)	委員13名、市職員21名 西園委員、萩原委員、今別府委員、四元委員、槐島委員、岩元委員、岡本委員、中迎委員、永山委員、奈良迫委員、野口委員、宮廻委員、成清委員 森市長、新地企画部参事、黒木合併対策室長、中園企画調整課主幹、柿元合併対策室主幹、その他関係職員
傍聴者数	0名
事務局	鹿児島市企画部合併対策室
会次第	1 開 会 2 委嘱状交付 3 市長あいさつ 4 正副会長選出 5 協 議 (1) 会議の進め方について (2) 新市まちづくり計画について (3) その他 6 閉 会
会議の概要	1 開 会 2 委嘱状交付 市長から各委員へ委嘱状を交付。 3 市長あいさつ 市長から、委員就任に対する謝意、会議設置の趣旨、新市のまちづくりに対する基本的考え方等についてあいさつ。 4 正副会長選出 委員の互選により、会長として宮廻委員を選出。 会長から、副会長として津曲委員を推薦すること、津曲委員は本日欠席のため、後日津曲委員の意向を確認して、副会長職を引き受けていただけるのであれば、次回の会議で報告する取扱いとしたいこと、以上の旨の発言があり、異議なく了承。 5 協 議 (1) 会議の進め方について 事務局から、会議の運営方針、協議フロー、会議開催スケジュール等について説明。 委員から、かごしままちづくり会議においては、各地域まちづくり会議から伝達された意見・提言のみについて協議するのか、または、かごしままち

づくり会議自体が意見・提言を行うことはできるのか質疑あり。

事務局から、かごしままちづくり会議の所掌事項には、地域まちづくり会議からの意見・提言に関する協議に加えて、かごしままちづくり会議自らが意見・提言を行うことも含まれている旨の説明あり。

(2) 新市まちづくり計画について

企画調整課主幹から、新市まちづくり計画の概要について説明。

会長から、新市まちづくり計画の期間と総合計画の期間とは、ずれが生じるのではないかと質疑あり。

企画部参事から、ご指摘のとおりずれが生じるので、新市まちづくり計画との整合性を図るため、平成17年度中に総合計画の見直し作業を行い、その中で調整を図る旨の説明あり。

委員から、どのような理由で人口が2万人増えると考えているのか質疑あり。

企画部参事から、人口シミュレーションによる単純推計の結果によれば、新市の人口は約10年で1万人近く増えるのではないかと考えており、この1万人に加えて、産業振興など今後のいろいろな政策の展開による人口増を合わせて、約2万人の増を見込んでいる旨の説明あり。

会長から、追加の1万人には希望的な観測が入っているのか、また、人口増を図るための政策として、職場とか住宅とか一番の重点はどこにあるのか質疑あり。

企画部参事から、1万人の内訳を産業振興で何人とか、少子化対策や長寿社会の形成で何人とか、数字としてカウントすることは困難なので、総合的に取り組むということであり、ご指摘のように希望的な部分も無きにしも非ずである旨の説明あり。

委員から、世帯数は2万5千世帯増える見込みになっているが、生産人口が増えると考えているのか質疑あり。

企画調整課主幹から、人口増に伴う世帯増に加えて、1世帯当たり平均人員が2.44人から2.28人へ減少することから、核家族化などによる独居世帯の増加がさらに進んでいくのではないかと考えている旨の説明あり。

企画部参事から、新市の人口・世帯数の見直しについては、総合計画の見直しの中で新しい人口シミュレーションを行って、改めて報告することになるとする旨の説明あり。

委員から、新市まちづくり計画の中に主な事業が掲載されているが、実施計画の段階で各地域バランスよく盛り込んでほしいこと、また、それぞれの事業の実施時期を早めに知らせることが、住民の安心感につながると思うこと、以上の旨の意見あり。

委員から、公共交通の充実、合併後の鹿児島市にとって重要だと思うが、新市まちづくり計画の中には、どのように盛り込まれているか質疑あり。

企画調整課主幹から、「4 機能的で多彩な交流が拓がるまち」の「(5)

交通体系」に記載している旨を説明。

委員から、合併後は市の面積が今までの2倍となるので、公共交通をうまく連携させて、車がなくても自由に移動できるということが大事であり、例えばバスを乗り継ぐときの乗換券や、JRの駅が西側の出口はあるが東側には出口がないとか、そういうことを含めてよりアクセスしやすい公共交通の充実について今後提言していきたい旨の意見あり。

委員から、今後各地域まちづくり会議において、新市まちづくり計画に掲載されていない事業の要望が出された場合、検討対象として取り上げることになるのか質疑あり。

企画部参事から、新市まちづくり計画には主な事業を掲載しているが、基本的な考え方に留めた表現もあるので、各地域まちづくり会議で具体的な意見が出てきて、新市まちづくり計画の大枠に沿っていれば、施策として展開されていく可能性もあると思う旨の説明あり。

会長から、新市まちづくり計画は、合併後10年間のまちづくりの指針であり、これをガイドラインとして協議を進めていくことになること、また、各地域固有の問題はそれぞれの地域まちづくり会議に任せて、新しい鹿児島市全体の立場からどうしていくかという問題は、かごしままちづくり会議で議論して、行政の施策の中にできるだけ反映してもらえるようお願いをしていくことになると考えていること、以上の旨の説明あり。

(3) その他

事務局から、平成16年度第1回地域まちづくり会議の概要について説明あり。

委員から、吉田地域まちづくり会議においては、特に、集落に加入していない住民がかなりいるので、その辺が今後の課題だという発言があったが、このことは自分達でも対応しなければいけないと思っている旨の意見あり。

委員から、桜島地域まちづくり会議においては、資料に掲載された以外にも意見があったが、これらの要望を受けて、速やかな一体化につながり、また、合併して良かったと言えるような施策が、新年度予算にどの程度盛り込まれるのか、期待をもって注視していきたい旨の意見あり。

委員から、喜入地域まちづくり会議においては、国道や生見海水浴場の整備、中央公民館の建設、市営住宅の建設などが主な要望としてあがっている旨の意見あり。

委員から、松元地域まちづくり会議の要望については、ほとんど新市まちづくり計画に盛り込まれている項目であり、今後、農政関係など具体的な要望等が出てくるのではないかと考えている旨の意見あり。

委員から、郡山地域まちづくり会議においては、商工会事業など具体的な要望とともに、鹿児島市全体の中で郡山地区のどういう特性が生かせるかなど発言していきたいという意見が出ており、今後時間をかけて協議していきたい旨の意見あり。

委員から、合併して3ヵ月余り経ったが、合併が具体的に目に見えないという声が地域にあるので、例えば、様々な行政の会議を各支所で開くとかすれば、市街地とのアクセスや5地域間のアクセスも見えてくるし、もっと一体感が出てくるのではないかと意見あり。

委員から、かごしままちづくり会議においては、民間の委員も出席されているので、今後、民間活力をどのように活用していくかという大きな視点での協議もなされることが、大事ではないかと意見あり。

市長から、本日の意見・提言については、緊急性の高いものは新年度予算の編成の中で論議をし反映させていきたいこと、また、長期的なものは今後地域住民の意見も聞きながら、具体的な施策につなげていきたいこと、以上の旨の説明あり。

6 閉 会